

『一生懸命』 幻の議会報告第32弾！



2008年 5月 30日発行

③ 一般質問のつづき

● 区画整理問題

北口の区画整理は民意を反映していないのではないのでしょうか。市民の意向を調査してみると区画整理に賛成している住民は極めて少ないのです。北口エリアの整備については住民の意向を反映した整備にすべきではないかと思います。住民が望んでいるのは道路整備であって、区画整理ではないと思いますがいかがですか。

(市長の答弁)

昭和48年に第一次新座市基本構想総合振興計画が議会で議決され、その時に新座駅周辺については、土地区画整理事業で良好な町並みをつくっていくというふうに位置づけられました。私は大和田小学校の出身です。大和田地区がどういう状況か全部分かっています。いつれにいたしましても新座駅周辺については、区画整理事業によって良好な町並みをとというふうに考えております。できるだけ市の財政を圧迫しないようなやり方で、地域の皆様と協議をさせていただきながら進めていきたいと思っています。

(たかやんの感想)

冗談じゃないぞ！！

「財政難」を理由に数々の値上げ、そしてサービスの低下を行ってきた市が、この3月議会で新座駅北口の区画整理事業にゴーサインを出しました。正確に言うと、市民が選んだ須田市長が決定し、市民が選んだ議員で構成される議会の26名中19名の議員がそれを認めたということです。新座駅北口の区画整理事業の事業費は150億とも言われています。今この時期に莫大な税金を新座駅周辺につき込む意味があるのか。何より「財政難」と言いながら、一方で既存の施設の補修・改修などは棚に上げて、新しい事業を行うという感覚が許せません。大型事業は一度走り始めると止めようがなくなります。今の議会では市長を止めることはできません。7月の市長選が唯一のチャンスかも知れません。

● 住所問題

住所表示が同じ為に、郵便物が届かなくて困っている方達がいいます。同じ番地に対する住宅が多すぎることによって起こるのです。もう少し細かくすることはできませんか。

* この問題は新堀1-8の方からお願いされ、取り上げました。この4月から枝番号を付けるということで、いい答弁が返ってきました。めでたしめでたしです。

● 保谷 朝霞線

5月29日の「保谷・朝霞線の説明会」に参加しました。野寺の住民が困惑している保谷・朝霞線を市はどういう風に説明するのか、僕は自分の目で見ておきたかったのです。しかし質問は「用途変更に係わることだけ」に限定され、今、誰の為に、27Mの広い道路が必要なのかという疑問に対する答えはありませんでした。市長の説明からからは「もう決まったことなのだから」という雰囲気しか感じられませんでした。6月議会は住民の目線で、質問をしたいと思っています。そしてあの静かな野寺地区に100億もかかる27M道路はいらない！！と主張したいと思っています。



東久留米・志木線の模型。マルフジの前から石神の坂の上までの部分です。坂上から坂下に通じている生活道路はこの1440Mで54億の道路に切断され、遠回りしなければ通れなくなります。かえって不便になりそうです。

もうほっとけない！

借金・しがらみ・先送り

CHANGE!
NIZA

『もうほっとけない！』

にいざ市民のみなさんに、この言葉をひろくお伝えしたいと思っています。

にいざの未来は、わたしたち、一人ひとりの未来にかかわってきます。

私は今こそ「手詰まり新座」市政の停滞」からの脱却をはかるため、多くの市民のみなさんと共に一歩一歩行動してまいります。

田中ゆきひろ

③ 後期高齢者医療制度

もう ほっとけないでしょう。後期高齢者医療制度は廃止しなければいけません。それまでの間、市が補助をする。当たり前のことですが、今の新座市ではできない相談です。何故なら26名の議員のうち、19名が「後期高齢者医療制度」に賛成しているからです。自民・公明は勿論、民主党系の刷新の会も賛成しているのだから新座市は異常です。「日本の為に命がけで戦い、そして生き延びて、戦後の復興に尽くした方たちを「後期高齢者」として邪魔扱いしている訳がありません。年金から天引きして苦しめている訳がありません。健康診断の補助金を出さなくていい訳がないのです。

現在の新座市長は「後期高齢者医療制度の広域連合長」です。この制度の埼玉県の責任者ということです。市長与党がみんなで賛成する訳です。新座駅北口の区画整理に150億、東久留米・志木線に54億、ふるさと新座館に11億、そして保谷・朝霞線には100億近い税金が投入されると言われています。日本は（勿論新座市も）道路を作りすぎています。そして医療費や教育費は最低レベル。生きていれば誰もがやがて75歳になるのです。こんな馬鹿な制度は廃止しなければいけません。

たかやん



石神井の恩師川島先生と久しぶりに再会

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。1954年、東京都新宿区生まれ。西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で！」を読み、教師になることを決意する。1977年から五中・六中・二中で子ども達と一緒に生きる。授業に、クラスに、そしてテニスに燃えた21年間だった。2000年2月、市議会議員選挙で9768円で戦い975票で落選。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。2008年も同様に、1433票で当選。2期目に入る。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。現在は建設常任委員会に所属。無駄な道路、箱物に反対しながら、公共施設の改修などを訴えている。また議会を離れたところでは「たかやん塾」で小中学生・高校生と共に歩み、石神小と六中では障がい児のボランティア活動に燃えている。「黒目川川づくり懇談会」代表。自然護岸を目指す。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・読書・音楽。小野伸二・クルム伊達公子・羽生義治のファン。

詳しくは **たかやんの応援団** で **検索**

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869
携帯 090-6497-5737

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106